

2022年



あつま

社協だより



夏
号

発行者

社会福祉法人 厚真町社会福祉協議会

〒059-1601 勇払郡厚真町京町158番地 TEL (0145) 26-7501 FAX (0145) 26-7655



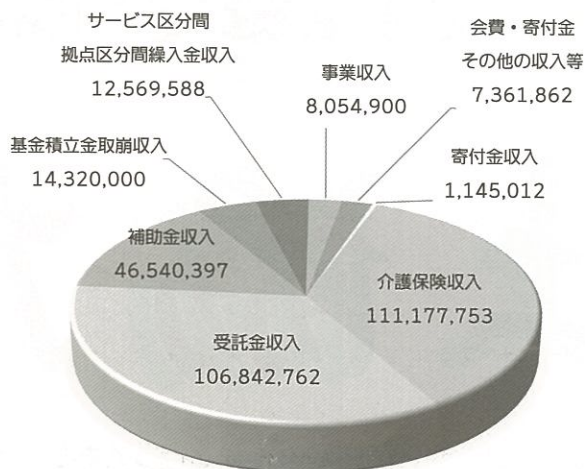
この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。

令和3年度 厚真町社会福祉協議会 事業決算

収入の部

合計額 308,012,274円

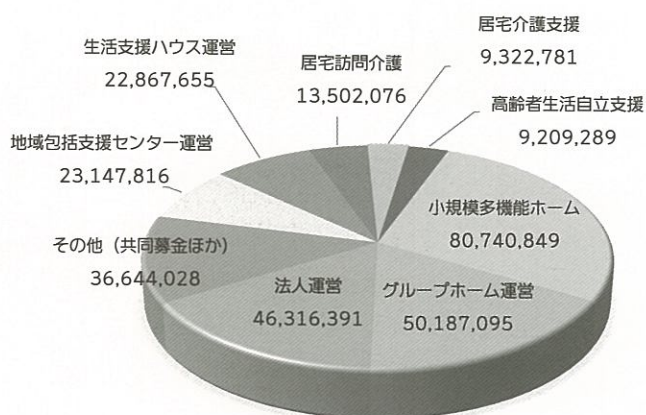
科 目	決 算 額
会費収入	919,200
寄付金収入	1,145,012
補助金収入	46,540,397
受託金収入	106,842,762
貸付事業収入	230,000
事業収入	8,054,900
介護保険事業収入	111,177,753
受取利息配当金収入	1,279
その他の収入	6,211,383
積立資産取崩収入	14,320,000
サービス区分間 拠点区分間繰入金収入	12,569,588
収入合計	308,012,274



支出の部

合計額 291,937,980円

科 目	決 算 額
法人運営事業費	46,316,391
生活支援ハウス運営事業費	22,867,655
グループホーム運営事業費	50,187,095
小規模多機能ホーム事業費	80,740,849
重層の支援体制整備事業 移行準備事業費	12,948,661
地域包括支援センター 運営事業費	23,147,816
高齢者共同福祉住宅 生活援助員配置事業費	1,210,000
生活支援体制整備事業費	8,192,503
地域福祉事業費	9,520,864
居宅介護支援事業費	9,322,781
人工透析患者等 送迎サービス事業費	4,192,000
高齢者生活自立支援事業費	9,209,289
居宅訪問介護事業費	13,502,076
共同募金分配金事業費	580,000
支出合計	291,937,980



単位：円

厚真町社会福祉協議会会長表彰

～4人に感謝状～

令和3年度に厚真町社会福祉協議会に対し、お寄せいただいたご寄付は32件1,145,012円にのびりました。社会福祉活動に対する温かいご支援に心から感謝申し上げます。このほど社会福祉協議会では表彰規程に基づき、高額寄付者4人に感謝状を贈呈しました。贈呈された方々は次のとおりです。

- ・村井 正昭 様 (本郷)
- ・沼田 和男 様 (本郷)
- ・仲川 喜代美 様 (埼玉県)
- ・幅田 弘美 様 (新町)

令和4年度老人クラブ功労者表彰

厚真町老人クラブ連合会及び胆振地区老人クラブ連合会では、長年にわたり地域の老人クラブ活動に貢献された方々の功績を称え、それぞれの総会において表彰式が行われました。このたび表彰された方々は次のとおりです。

厚真町老人クラブ連合会功労者表彰

- ・木下 八重子 様 (厚真福寿会)

胆振地区老人クラブ連合会功労者表彰

- ・若林 成正 様 (厚真福寿会)
- ・森本 鎮男 様 (厚真福寿会)
- ・丹羽 トヨ子 様 (豊松会)

介護予防教室

地域包括支援センター

地域包括支援センターでは、今年から一般介護予防事業の取り組みとして、新型コロナウイルス感染対策をしながら65歳以上の高齢者を対象に、約3ヶ月間/週1回/午前の介護予防教室を地区ごとに開催、皆さんの健康づくりのきっかけを作るお手伝いをしています。

内容は、椅子に座って体を動かす運動を中心に、脳トレ・リズム体操・機能体操・ラダートレーニングなど楽しく和気あいあいとした雰囲気の中で運動をしています。運動前には毎回看護師による体調チェックや、随時健康相談も行っており、運動中にケガや体調を悪化させないように注意を払って実施しています。

また、皆さんが少しでも通いやすいように開催場所は期間を決めて各地区の生活会館やマナビィハウスで実施しています。教室が終了しても継続して運動を行ってもらえるように、初日と最終日に体力測定を実施し、運動効果を実感できるよう工夫しています。

介護予防教室日程と開催地区

R4年1月11日～3月末 (コロナ感染拡大の為途中で中止)	軽舞	美里
4月末～7月末	東和	本郷
8月～11月	ルーラル	共和



平均寿命と健康寿命

	男性	女性
日本の平均寿命 (令和元年)	81.41才	87.45才
健康寿命 (自立した生活を送れる期間)	72.68才	75.38才
上記寿命から引いた年数	約9年	約12年

厚生労働省：簡易生命表(2019)より作成

この平均寿命から健康寿命を引いた年数（男性9年・女性12年）は介護を必要とする期間を表していて、この期間を少しでも縮める取り組みが介護予防となります。そのためには運動・バランスのよい食事・脳の活性化など健康のための行動を習慣化し、日頃から健康づくりを進めることが重要です。



お問い合わせ先
厚真町社会福祉協議会
地域包括支援センター
29-7407



入口で体温チェック



この日はゲームや体操を中心に

サロン再開 「元気だったかい？」笑顔がつどう

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、たびたび開催を中止していた各地域のふれあいサロンが5月から久しぶりに再開されました。サロンの開催は昨年12月以来およそ半年ぶりとなりました。

サロンの会場入口では、検温・手指消毒を行うとともに、参加者にマスクの着用をしていただく感染予防を行っています。

サロンの楽しみの一つだった食事会は慎重にと、まだ実施を控えておりますが、「まずはみんなで顔を合わせられたことが何より」と、サロン再開できたことに関係者の皆さんもほっと胸をなで下ろしていました。

今年の目標は健康づくり

上厚真地区では体力測定を実施

厚南会館（上厚真）会場の「ひだまりサロン」では、サロンボランティアさんの打合せを経て、健康づくりをプログラムに取り入れることとなりました。

社協のコーディネーターが体操などのプログラムを調整するとともに、個人ごとに体力や運動能力の状況を記録して管理するオリジナルの健康推進ブックを作成しました。参加するとスタンプを押すページもあり、継続の励みになりそうと、参加者からも好評のようです。

早速6月14日のサロンでは、身長・体重の測定や片足立ちなどの記録測定を実施し、その結果を健康推進ブックに記録しました。具体的な数字でそれぞれの体力状況を把握できると、1年を通じて健康づくりに取り組む目標が見えてきます。サロンの新しいプログラムとして定着していくことが期待されます。



握力測定もしました



片足立ちの時間を測定

お知らせ

ふれあいサロンの日程

8月～11月まで

お気軽にお越しください！

お問い合わせ先

厚真町社協／福祉担当

26-7501

厚北地域防災CC（富里）：8/24(水) 9/21(水) 10/25(火) 11/24(木)

総合福祉センター（京町）：8/8(月) 9/16(金) 10/27(木) 11/22(火)

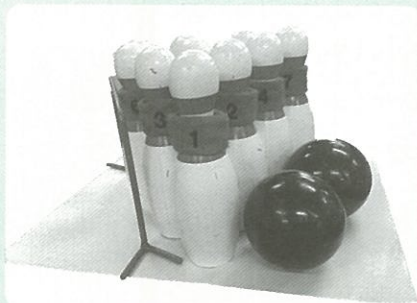
豊川生活会館（豊川）：8/4(木) 9/13(火) 10/11(火) 11/8(火)

厚南会館（上厚真）：8/23(火) 9/8(木) 10/13(木) 11/16(水)

※時間は各会場とも10時から12時頃まで。都合により変更になる場合があります。

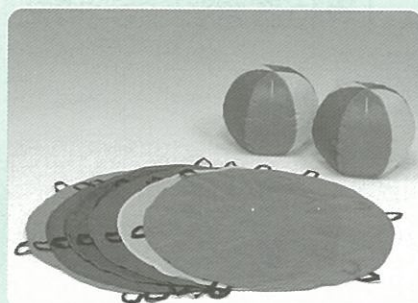
貸出用レクリエーション用具

厚真町社協では、ふれあいサロンや地域でのイベントなどで活用して頂けるよう、レクリエーション用具の貸出を行っています。



ボーリング

通常より小さめ、場所の広さを選ばず使用できます。



エアボールゲームセット

大人数で遊べるゲーム
3人一組でチームになり、シートを持って行う風船バレーです。



囲碁

マグネット式の囲碁です。同じマグネット式で将棋もあります。

他にも、トランプ・花札などのカードゲームや、スカットボール・e-ボールなど体を動かせる物などもあります。貸出期間は7日間です。

お問い合わせ先 厚真町社会福祉協議会 26-7510

貸出用福祉用具



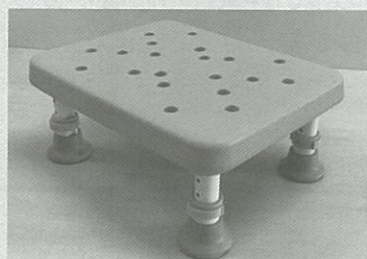
介助式車椅子
(介助者が操作)



自走式車椅子
(自分で操作)



シルバーカー
(屋内外用、かご付き)



浴槽台
(浴槽の中に設置して使用)

どれも無料で最長2か月まで貸出できます。

お問い合わせ先 厚真町社会福祉協議会
地域包括支援センター 29-7407

高齢者グループホーム「やわらぎ」

介護員 **橋本** はしもと **聖宏** まさひろ さん

年 齢：37歳

趣 味：釣り

将来の夢：結婚後、子供を授かること



ー入職した経緯ー

厚真町社協に入ったのは令和2年の11月。学校を卒業後は埼玉県の赤十字病院に勤務し、その後は茨城県で接客や営業を主体としたエンターテインメント業界で働いていましたが、震災がきっかけで厚真の実家に戻りました。震災後に体調を崩していた母が他界してすぐ「グループホームやわらぎ」で介護員の募集があったので、入職させて頂きました。

ー異業種へのチャレンジとやりがいー

営業関係からこういう仕事に戻ってきて、こっちの方が合っているなって感じているんです。母にあまり親孝行できなかった分、これまで思い出が一切なかったやわらぎに入居している祖母の近くに居られるのが一番良かったことだと思います。

それと接客を長くやってきたこともあり、人との関わりが割と好きな方なので、入居者さんの人生の中に僕らがいると思うと、それがありがたいというか、うれしいという風にすごく感じます。こういう職場だと僕の年代でも若いほうで、ほとんど周りの方が年上になってしまうんですけど、今までうまくやってこれたのは協調性のお陰かなと思っています。前の職場でも年上の先輩や上司からは、そこそことつきやすい評価をいただいていた。

ーご自身の性格についてー

頑固な部分があります、我が強いというか。協調性とは全く逆になってしまうんですが、融通が利かない所は正直言っているかなと。自分が良いと思ってのことも、周りからしたら、ただのスタンダプレイに映っている可能性もあるわけですから。今この年になってようやくそれが落ち着いてきたというか、協調することが大事というほうに重きを置いています。



ー仕事の難しさについてー

利用者さんと意思疎通がうまく取れず、もどかしいとき。僕はここでの浅い経験から想像するしかなくて、うまく感情を拾ってあげられないことが辛いんですが、ベテランさんから「この方は昔こういう人で、こんなことをしていたから、こうやりたいんじゃないか」という風に教えてもらえることがありがたく、そのことを積み重ねながら解決させてもらったりしています。

Interview

掲示板

送迎ボランティア

募集中

- ★ ボランティアにちょっとだけ興味のある方
- ★ 運転が好きな方
- ★ 運転ボランティアと一緒に利用者の見守りをして頂ける方
- ★ 週に1度くらいなら空いた時間に送迎のお手伝いをして頂ける方

あなたの空いた時間を少しでも 地域貢献してみませんか？

【活動内容】

地域サロン等参加者の送迎

* 車は当社協の公用車（普通車）を
使用して頂きます *

お問い合わせ先 厚真町社会福祉協議会
0145-26-7501

厚真町給食 サービス

夕食を週3回～6回の間で、ご自宅までお届けします。専属の管理栄養士が考えた、季節の食材を使ったメニューをご用意。工場で当日に調理したものを冷蔵でご自宅までお届けします。

メニュー

- ・ 松デラックス弁当 ￥650
- ・ 竹バランス弁当 ￥500
- ・ 梅（低カロリー）弁当 ￥450

厚真町に在住する70歳以上の一人暮らし又は70歳以上の高齢世帯で身体的又は精神的な事情により自ら食事の支度が行うことが困難な方で下記に該当する方が対象

- ・ 要支援又は要介護の認定を受けている方
- ・ 厚真町又は居宅介護支援事業所等から給食サービスの必要があると認められた方
- ・ 70歳未満でも上記に該当する方

* 委託先：コープさっぽろ配食サービス

お問い合わせ先 厚真町社会福祉協議会
0145-26-7501

生活就労 サポートセンターいぶり

「住まい」「仕事」「生活費」
などの困難を抱えている方に
総合的な支援を行います。

【住宅確保給付金】

再就職のための住居の確保が必要な方、収入が減り家賃が払えない方の支援を行います。

【就労支援】

早期就労が見込まれる方に対して、自治体とハローワークによる一体的な支援を行います。

【家計改善支援】

家計管理、滞納の解消や各種給付制度の利用、債務整理に関する支援などを行います。

お問い合わせ先
・ いぶりサポートセンター
0120-09-0783

新型コロナウイルス感染症の影響による 休業や失業で生活資金でお悩みの皆さまへ 一時的な資金の貸し付け（特例貸付）

■緊急小口資金

- ・ 貸付金額 10～20万円
- ・ 据置期間 1年以内
- ・ 返済期間 24ヵ月以内

■総合支援資金

- ・ 貸付金額 単身世帯・・・月15万以内
2人以上の世帯・・・月20万以内
- ・ 貸付期間 原則3ヵ月以内
- ・ 据置期間 最終貸付日から1年以内
- ・ 返済期間 10年以内



※いずれも保証人不要・無金利となっています
お問い合わせ先

- ・ 特例貸付コールセンター
0120-32-1760
- ・ 厚真町社会福祉協議会
0145-26-7501

○北海道社会福祉協議会のHPからも内容の詳細が確認できます

今号の表紙 介護予防教室を本郷地区で開催した時の写真です。

あたたかい善意に
感謝いたします

ご芳名はご本人から了解を
いただいた方のみ掲載しています。

福祉資金

北海道厚真高等学校 様 (本郷)
専厚寺婦人会 様 (桜丘)
三上雅浩 様 (本郷)
山本 幹 様 (厚和)
佐藤敏男 様 (新町)
匿名 5件

合計 245,006円 (10件)

(令和4年3月25日
～令和4年6月14日)

物品預託

真正寺仏教婦人会 様 (表町)
・・・タオル

匿名 2件

赤い羽根共同募金の ご当地ピンバッジが出来ました！



社協だより春号でもお伝えしていた、厚真高等学校ボランティア部の皆さまにデザインのご協力を頂いたピンバッジがこのほど出来上がりました。令和4年度の厚真町ご当地ピンバッジとして、これから3月までの期間、赤い羽根共同募金へ500円以上のご寄付を頂いた方へ進呈させていただきます。

厚真町の公式キャラクターである「あつまるくん」の両側に、丸みをもたせた赤い羽根を配置。厚真町から助け合い協力し合う気持ちが広がってほしいという願いを込めてデザインされています。

ピンバッジは社協窓口にてお声掛けいただくか、職場などへも募金のお願いに上がることもございますので、どうぞよろしくお願いいたします。



共同募金会では、一定以上の募金協力でオリジナルグッズを進呈する「赤い羽根ご当地グッズ」を展開しています。寄付金は、ご寄付いただいた都道府県での地域福祉活動に使われます。